

東北農林専門職大学 農林業経営学部 農業経営学科
専任教員候補者募集要項

項 目	内 容
採 用 職 名	教授又は准教授
採用予定人数	1 名
所 属	東北農林専門職大学農林業経営学部農業経営学科
勤 務 地	山形県新庄市大字角沢 1366
担 当 科 目	別添 区分のとおり
担当研究分野	
業 務	担当予定科目の他、臨地実務実習及び卒業研究に係るゼミ（経営分析・計画演習）、大学運営に関する業務なども担当していただきます。
採用予定日	令和 8 年 4 月 1 日
応 募 条 件	次の全ての条件を満たす者 (1) 専門職大学設置基準第 38 条及び第 39 条に規定する教授又は准教授の資格に該当する者 (2) 地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 16 条及び学校教育法（昭和 22 年法律第 36 号）第 9 条の規定に該当しない者 (3) 人格及び見識に優れ、協調性に富むとともに、高いコンプライアンス及び倫理意識を有し、大学運営に関する業務を積極的に行える者 (4) 常に最新の知見と情報の獲得に努め、教育及び研究に意欲的に取り組むことのできる者 (5) 東北農林専門職大学の設置の意義及びその役割を十分に理解し、山形県をはじめとする東北地方の農業を核とした振興に貢献する意欲がある者
応 募 期 限	令和 7 年 11 月 14 日（必着）

提出書類	(1) 専任教員採用選考申込書（様式1） (2) 履歴書（様式2） (3) 教育研究業績書（様式3） (4) 上記様式3中「研究業績等に関する事項」欄に記載の主な業績5点に○印を付け、それらの現物又は抜刷若しくはコピーを同封すること (5) 教育・研究等の方針及び抱負（様式任意A4版2,000字程度） ※①教育、②研究、③社会貢献（学会活動、地域・国際貢献活動等）、④組織内業務と管理・運営等の4点について必ず記載すること (6) 応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先（様式任意1部） (7) 推薦書（面接候補者となった場合に提出を求めることがあります） (8) 健康診断書（面接候補者となった場合に提出を求めることがあります）
提出方法	提出書類(1)から(6)までについては「専任教員応募書類在中」と朱書きの上、郵送（簡易書留郵便又はレターパックプラス）又は持参（土曜日、日曜日及び祝日を除く午前9時から午後5時まで）により下記提出先まで提出してください。電子メール、FAXによる申込は受け付けません。 提出書類(7)及び(8)については、面接候補者に対し別途連絡します。 なお、提出書類は原則として返却しません。
書類提出先	〒996-0052 山形県新庄市大字角沢 1366 東北農林専門職大学総務課
選考方法	1次選考 書類審査（令和7年11月中旬実施予定） 2次選考 面接審査（令和7年11月22日(土)実施予定） ※面接審査の日時及び集合場所は、面接候補者に別途お知らせします。 ※面接審査では、提出書類(5)の内容について、プレゼンテーションを行っていただく予定です。 ※面接時の旅費等は、応募者の負担とします。
問い合わせ先	東北農林専門職大学総務課 電話 0233-22-1527 E-mail ysenmondai@pref.yamagata.jp ※電話での問合せは、土・日曜日及び祝日を除く午前9時から午後5時まで
待遇	(1) 身分 山形県職員に任命されます。 (2) 給料 山形県職員等の給与に関する条例 教育職給料表（3）によります。 給料月額、学歴及び職歴を考慮した上で、職位に応じて採用時に決定されます。 (3) 諸手当 山形県の規定に基づく各種手当の制度があります（期末・勤勉手当、扶養手当、住居手当、通勤手当など）。 (4) 休暇・休業 年次有給休暇の他、山形県の規定に基づく休暇・休業制度（育児休業、夏季休暇、婚姻休暇等）があります。 (5) 福利厚生

	住 居：勤務地の新庄市内に世帯用、単身者用の職員住宅があります。 健康管理：各種健康診断や人間ドックを受けることができます。
雇 用 期 間	任期なし
定 年	65 歳
勤 務 形 態	週 38 時間 45 分 休日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始 就業時間：8:30-17:15 休憩時間：12:00-13:00 時間外勤務手当の支給あり、裁量労働制の適用なし、時差出勤制度あり
保 険	公立学校共済組合に加入します。
そ の 他	(1) 男女雇用機会均等法第 8 条に則り、女性教員の割合を積極的に改善するため、業績等が同等の場合は女性を優先的に採用します。 (2) 応募者の個人情報を選考以外の目的には使用しません。 (3) 臨地実務実習時、教員は車で山形県内各地に巡回指導に赴くため、運転免許（普通免許）が必要です。 (4) 担当科目欄に記載の科目のうち、科目名に「(分担)」と記載のある科目は、複数教員が授業を担当する予定です。「(分担)」と記載のない科目は必ず担当していただきますが、「(分担)」と記載のある科目は、今後の調整過程で担当の有無が変わることがあります。 (5) 本学は、令和 6 年 4 月開学の新設大学のため、教員資格について文部科学省（大学設置・学校法人審議会）の審査等を受けることになります。このため、同省による教員審査において不適合とされた場合は、採用は延期又は取消となる場合があります。 (6) 本学は、岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）に連携大学院として参画しています。

別添

区分	担当科目名	担当研究分野
農 1	農業概論（分担）、農業概論演習（分担）、経済学入門（分担）、マーケティング論（分担）、農業経営分析・計画（分担）、農山村活性化論（分担）、農山村活性化論演習（分担）、臨地実務実習（分担）、経営分析・計画演習（分担）	農業経済、農業政策

※科目名に「(分担)」と記載のある科目は、複数教員が授業を担当する予定です。

専任教員採用選考申込書

東北農林専門職大学

教員等選考委員会委員長 殿

氏名 _____ 印

(自署又は記名押印)

東北農林専門職大学の専任教員採用選考を申し込みます。

なお、私は専任教員募集要項に記載の応募条件を全て満たしております。

また、提出書類の全ての記載事項は真実と相違ありません。

○ 希望する職位 (教授、准教授の中から記入してください)

○ 希望する募集の区分
農 1

教 員 個 人 調 書

履 歴 書					
フリガナ		性別		生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)
氏 名					
国 籍			現住所	〒	
学 歴					
年 月	事 項				
職 歴					
年 月	事 項				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等					
現在所属している学会					
年 月	事 項				
	(学会活動)				
	(社会活動)				
賞 罰					
年 月	事 項				
現 在 の 職 務 の 状 況					
勤 務 先	職名	学部等又は所属部局の名称		勤務状況	
開 設 後 の 職 務 の 状 況					
勤 務 先	職名	学部等又は所属部局の名称		勤務状況	
—					
令和 7 年 月 日				上記のとおり相違ありません。	
				氏名	

※写真は、別葉で提出してください。

【写真添付欄】

- ・上半身、脱帽、正面向きで6ヶ月以内に撮影した本人の写真
- ・縦4 cm×横3 cm
- ・写真の裏面に氏名を記入

(注)

- 1 この書類は、学長（高等専門学校にあっては校長）及び専任教員について作成すること。
- 2 「生年月日（年齢）」の欄は、和暦で記入すること。年齢は、応募書類提出時の年齢を記入すること。
- 3 「国籍」の欄は、当該学長等が外国籍である場合にのみ、その国名を記入すること。
- 4 「氏名」は、本人が自署すること。旧制等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を併記すること。

「履歴書」の記入上の注意

(1)「氏名」の欄については、印鑑登録証明書（印鑑登録証明書を有さない者については、旅券（パスポート））の記載と同じ氏名を記載してください。旧姓等の通称名を使用している場合は、（ ）書きで本名を併記してください。

（記載例：通称名が山田太郎、本名が田中太郎の場合・・・【山田（田中）太郎】）

(2)「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、応募書類提出時点における満年齢を記入してください。

(3)「学歴」の欄について

- ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む）を有する場合、全ての学歴（授与された学位及び称号を含む）を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において課程の修了に必要な単位を取得後、博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。なお、学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、正確に記入してください。
- ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
- ③ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の免許等についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における免許等にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
- ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
- ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットと片仮名を併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

(4)「職歴」の欄について

- ① 全ての職歴（自営業、主婦、在家庭等を含む）を記入するとともに、職名、職位等についても明記してください。
- ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
- ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
- ④ 過去に大学設置・学校法人審議会（旧大学設置審議会を含む）で教員審査を受け、教員の資格があると認められた場合には、当該審査の時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあつては、判定結果を含む）を記入してください。また、過去に高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定の時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。
- ⑤ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
- ⑥ 外国での職歴等を記載する場合はアルファベットとカタカナを併記してください。

(5)「学会及び社会における活動等」の欄について

- ① 「現在所属している学会」には、応募書類提出時において所属する学会の名称を記入してください。
- ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
- ③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

(6)「賞罰」の欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

(7)「現在の職務の状況」の欄について

- ① 応募書類提出時における職務の状況について記入してください。
- ② 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」、「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」、「理事」等の職名を記入してください。職名がない場合は「－」を記入してください。
- ③ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

様式 3

教 育 研 究 業 績 書				
年 月 日				
氏名 印				
(自署又は記名押印)				
研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド		
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項				
事項		年月日	概 要	
1 教育方法の実践例				
2 作成した教科書，教材				
3 教育上の能力に関する大学等の評価				
4 実務の経験を有する者についての特記事項				
5 その他				
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項		年月日	概 要	
1－1 資格，免許				
1－2 資格，免許				
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1				
2				
3				
:				
(学術論文)				
1				
2				
3				
:				
(その他)				
1				
2				
3				
:				

(注)

1 年月日は和暦で記載すること。

2 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。

3 記入欄が不足する場合は、適宜行を追加すること。

「教育研究業績書」の記入上の注意

(1)「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

- ① 「研究分野」の欄には、平成 29 年度まで使用されていた科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称又は「科学研究費助成事業 審査区分表（総表）」の中区分の名称（「およびその関連分野」は省略可）を用いて、研究分野の主なものを 3 つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、「系・分野・分科・細目表」の細目又は「科学研究費助成事業 審査区分表（総表）」の小区分を参考に、研究内容を表すキーワードを 5 つ以内で記入してください。なお、各表に該当がない場合は、適宜記入してください。
- ② 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者（「専門職大学設置基準（平成 29 年文部科学省令第 33 号）」第 38 条第 3 号及び第 6 号、第 39 条第 5 号、第 40 条第 2 号並びに第 41 条第 3 号に該当する者）としての応募する場合には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを 5 つ以内で記入してください。

(2)「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
- ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
- ④ 「教育上の能力に関する事項」の例
 - ア 「1 教育方法の実践例」について
 - 授業外における学習を促進する取組、授業内容のインターネット上での公開等
 - 司法研修所等の教育機関における教育経験
 - イ 「2 作成した教科書、教材」の例
 - 授業や研修指導等で使用する著書、教材等
 - ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
 - 採用決定の際等における評価内容
 - 各大学における自己点検・評価での評価結果
 - 学生による授業評価、教員による相互評価等の結果
 - エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」
 - 大学から受け入れた実習生等に対する指導
 - 日本薬剤師センター等の職能団体の依頼による研修指導等
 - 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
 - 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

オ 「5 その他」

- 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- 国家試験問題の作成等

⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例

ア 「1-1 資格、免許」

- 医師、歯科医師、薬剤師、獣医師、看護師、教員等の資格で担当予定授業科目に関連するもの

イ 「1-2 資格、免許」

- 産業用マルチローター（ドローン）技能認定講習、測量士等の資格で担当予定授業科目に関連するもの及び自動車運転免許

ウ 「2 特許等」

- 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

エ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- 大学との共同研究
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- 各種審議会・行政委員会、各種 ADR 等の委員
- 行政機関における調査官等の官職
- 研究会・ワークショップ等での報告や症例発表
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 上記を裏付ける報告書、手引書、マニュアル、雑誌等

オ 「4 その他」

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- 論文の引用実績等

⑥ 資格の証明書、雇用者や各種団体からの表彰・推薦文書等を必要に応じて添付してください。

（3）「研究業績等に関する事項」の欄について

① 「研究業績等に関する事項」には、応募書類提出時において未発表のものは記入できません。

② 「著書、学術論文等の名称」の項について

ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。

イ 著書については、書名を記入してください。

ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。

エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

オ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

カ 当該著書、学術論文等が外国語の場合、著書等名（共著の場合は本人担当部分の章、

節、題名も含む)はその外国語で記入するとともに、()書きで訳文を記入してください。当該著書等の概要は日本語のみで構いません。

③「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。なお、学会発表等の場合は「－」を記入してください。

④「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

ア 著書については、発行所を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

⑥「概要」の項について

ア 当該著書等の概要を 200 字程度以内で記入してください。既存の学術論文等の概要を添付していただいても構いません。

イ 当該著書等が共著の場合には、当該著書の概要（200 字程度以内）のほか、以下の事項を記入してください。

- ・本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ（本人の担当部分を抽出できない場合は、これらの代わりに担当部分を抽出できない理由を記入すること）。
- ・本人の氏名（下線を付すこと）を含む著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）（当該著書等に記載された順に記入すること）。